

Ⅱ. 2020 年度活動報告

1. 自主防災組織全体

- ① 11/21 に感染症対策を講じての防災訓練(安否確認)を開催した。一方、今年度開催を予定していた日赤減災セミナー、救急救命講習会、防災住民意見交換会は新型コロナの感染状況を考慮し、すべて開催を見合わせた。
- ② 9 月と 3 月に防災の日と防災週間を設定し、「防災チェックシート」による自主点検のお願いと、備蓄水の購入あっせんに取り組んだ。
- ③ 筑波研究学園専門学校を災害時の一時避難所として使用するためのつくば市、土浦市、学校の3者協定締結に向けた準備作業は、コロナ感染症拡大のため大幅に遅れている。
- ④ 自主防災組織のホームページ、防災だより、防災メール、掲示板を使って情報発信を行なった。
- ⑤ 中央公園への防災井戸設置の必要性について、防災だよりを通じ、住民に知ってもらう活動に取り組んだ。
- ⑥ 自治会本部役員と自治会規約改正に関する打合せを 4 回開催し、自主防災組織の立ち位置と職務内容について見直しを行い、自治会規約改正案として取りまとめた。
- ⑦ 開催した会議は以下のとおり。なお防災会議については、今年度は開催を見合わせた。
 - ・役員会 7回(6/27、8/29、10/31、11/27、12/19、1/30、2/20、なお1月以降はオンライン会議)

2. ひなん支援部会

- ① 災害時安否確認のための世帯調査とひなん時に支援希望する方の調査を7月に行なった。今年度のひなん支援希望者は80名で、サポーターを72名の方をお願いした。
- ② 防災訓練で安否確認を担当した。今回の訓練は感染症と地震の複合災害であることを前提に、担当者の感染防止を考慮した形で実施した。皆さんの協力のもと、班長、サポーター、メールによって安否が確認されたのは88.7% (469/529世帯)で、これまでで最も高い数字となった。
- ③ 支援希望者宅を3回(7、10、2月)訪問、ひなん支援部会を5回(6、8、10、11、1月)開催した。

3. 情報部会

- ① 広報活動:防災メール7回および掲示板8回によりお知らせと注意喚起を行った。今期は新型コロナ関係で、危機管理課からの外出自粛要請のお知らせや、マスクの送り付け詐欺・給付金詐欺、感染症禍における地震等の複合災害に関する事項が多かった。
- ② 防災メール管理運営:7月に登録のお願いチラシを配布し、97件の新規登録があった。登録総数は315件となり、登録実人数は281名となった。
- ③ 防災訓練:今期は本部での密を避けるため、防災メールの返信集計は担当者の自宅をZoomで結んで行った。安否確認の返信数は147件(後日受信を含む)であった。
- ④ 防災だより:39号~41号を発行した。9月と3月の防災週間のお知らせに合わせ、備蓄水の購入受付と宅配を行った。

4. 訓練部会

- ① 防災訓練実施(11/21)

安否確認と災害対策用資機材である発電機(ガス・ガソリン)の動作チェックを行った。
ガス発電機は問題なく動作確認できたが、ガソリン発電機はエンジンが掛からず、後日修理した。
- ② 備品購入
簡易トイレ、テント、トイレ消耗品を購入した。